

令和6年 7月 1日

各学校長様
書写主任様

静岡県教育研究会長 室 伏 伸 明
同書写教育研究部長 櫻 井 真 弓

第74回 静岡県席書コンクール要項

1 目的

- ◎ 児童生徒の書写能力の向上を目指す。
- ◎ 教職員の指導力向上を目的とし、授業を振り返る資料とする。

2 実施方法

- (1) 11月1日(金)から11月14日(木)の2週間の間に各学校で実施することを原則とする。
- (2) 小1～中3、各学校単位の参加とする。
- (3) 授業中に練習と清書をする。
- (4) 作品には学年(○年)と氏名を書く。学年の書き方は、各校で使用している表記としてもよい。
(例 中学1年→7年)

3 参加資格

静教研の会員校および静教研と協定を結んでいる浜松市立の中学校。
私立中学校、特別支援学校は、準会員校であることを確認する。

4 審査(評価)

- (1) 各校は、児童生徒参加数の20%を選別し、郡市の審査に送る。
- (2) 各郡市では、さらに10%を選別し、東・中・西部の本審査に送る。(参加総数の2%にしぼる)
- (3) 特別支援学級作品は、参加総数の概ね20%を基準に(1)(2)いずれかの段階で審査し、東・中・西部の審査に送る。
- (4) 東・中・西部(本審査)では、学年ごとに最優秀賞10点、優秀賞10点、特選70点を審査する。それ以外を入選とする。
- (5) 特別支援学級の部は、学年ごとに最優秀賞1点、優秀賞1点、特選7点を審査する。それ以外を入選とする。

5 賞

- (1) 最優秀賞、優秀賞、特選、入選には、静岡県書写教育研究部の賞状を授与する。
- (2) 最優秀賞作品は展示会を開き広く一般に公開するとともに、翌年の静教研夏季大会の会場にも展示する。

「最優秀作品展」

- 【会 期】 小学校 令和6年12月19日(木)～28日(土)
中学校・特別支援 令和7年1月6日(月)～14日(火)
【会 場】 静岡県教育会館ギャラリー

6 地区責任者（書写教育研究部副部長）

東 部	菊 池 勝 義（伊豆市立天城小学校長）	☎0558-87-0634
中 部	沖 孝 子（掛川市立原田小学校長）	☎0537-26-0061
西 部	藤 井 千 帆（湖西市立東小学校長）	☎053-578-1094

※ 詳細は、地区責任者を中心に計画する。

7 課題・書体

- (1) 小1・小2は硬筆、B5判上質紙を使用する。
- (2) 小3～中3は毛筆、半紙を使用する。小学生は楷書、中学生は行書とする。
- (3) 各校で使用している書写教科書の中より、以下の文字を課題とする。

学 年	教 科 書			
	光 村 図 書	東 京 書 籍	教 育 出 版	三 省 堂
小学校 1年生	ぼくのすきなことは、かるたです。ふだがとれるとうれしいからです。 (P.22)		おじいさんは、かぶをぬこうとしました。「うんとこしょ、どっこいしょ。」 (P.19)	
小学校 2年生	学校にツバメがすを作りました。ひなはどんどん大きくなって、とび立ちました。 (P.34)	ところが、そりを引くかけ声は、長じゃどんのやしきの方には行かず、こっちに近づいてきました。 (P.37)	お正月に、妹とたこあげをしました。青い大空に、たこが高く上がりました。 (P.28)	
小学校 3年生	木 (P.31)		大 (P.19)	
小学校 4年生	左 右 (P.13)	左 右 (P.13)	左 右 (P.22)	
小学校 5年生	成 長 (P.17)		成 長 (P.16)	
小学校 6年生	感 謝 (P.36)	希 望 (P.28)	理 想 (P.43)	
中学校 1年生	月 光 (P.63)	日 光 (P.35)	栄 光 (P.48)	元 氣 (P.41)
中学校 2年生	雲 海 (P.68)	若 緑 (P.53)	深 緑 (P.60)	親 和 (P.51)
中学校 3年生	輝ける未来 (P.103)	栄光のかけ橋 (P.93)	美しい自然 (P.90)	未知へと歩む (P.79)

※学校独自の採択校（附属校・県立等）はこの限りでない。

問い合わせ先	
静岡県教育研究会書写教育研究部	
部 長： 櫻井 真弓（牧之原市立相良小学校）	席書担当： 萩野 千賀（函南町立函南小学校）
電話 0548-52-1433	電話 055-978-3048
FAX 0548-52-5844	FAX 055-979-7078